

公表: 令和6年 3月 29日

事業所名 ライオン

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動によって、動きのある活動と椅子に座ってする活動にスペースを分けたり、グループに分けての活動を行うことで、動きのある活動もスペースをしっかりと確保しています。	継続して、安全面を十分に配慮しながら必要に応じたスペースの使い方をしていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準配置以上に配置しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				必要があった時にはバリアフリー化の見直しをしていきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者からの評価結果を職員で共有しています。	保護者からの評価結果を職員で共有し、必要に応じて業務改善していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年ホームページに公表しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部の先生からのコンサルテーションを受けています。	継続して、外部の先生からのコンサルテーションを受けて業務改善につなげていきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部・外部の研修に積極的に参加し、学ぶ事を大切にしています。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画作成前には必ず保護者と面談し、ニーズや課題を確認し、計画を作成しています。	継続して、個別支援計画作成前には必ず保護者と面談し、ニーズや課題を確認し、作成会議を行った上で計画を作成します。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			クラス会議等で活動を話し合い、固定化しないようにしています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			クラス会議等で活動を話し合い、固定化しないようにしています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇の活動や課題を計画したうえで行っています。	継続して、日頃出来ない活動も長期休暇だから出来る、他クラスと協力して出来ることがあるため、計画して行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			クラス会議で、子どもの状況を共有し、個別活動の必要性等も含めて検討しています。	継続して個別活動の必要性等を話し合っていきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動の流れ、出欠等必要な事の打ち合わせを行っています。	継続して、コミュニケーションをまめにとり合って、連携しやすい関係を築いていきます。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員間で気づいた事を共有しています。	継続して、職員間で気づいた事を共有し、翌日の支援につなげていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日その日の記録をつけています。	継続して、その日の記録はその日のうちにつなげていきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半期に1度、モニタリングをしたうえで計画の見直しを行っています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要に応じて児童発達支援管理責任者が出席します。	継続して、必要に応じて児童発達支援管理責任者が出席します。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校と密に連携し、情報共有が来ています。	学校と密に連携し、情報共有が来ています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			法人内の児童発達と、引継ぎや情報共有を行っています。	法人内の児童発達と、連携を継続します。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			法人内の児童発達支援センターと連携し、助言や研修の機会があります。	法人内の児童発達支援センターと連携し、研修の機会がある時には積極的に参加します。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			地域のお子さんと公園等であった時に一緒に遊ぶ事があり、交流しています。	地域のお子さんと公園等であった時には、一緒に遊ぶ等、交流していきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			法人内の担当者が参加しています。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者と細目にコミュニケーションをとり、困り感を把握して支援につなげています。	継続して、保護者と細目にコミュニケーションをとり、困り感を把握して支援につなげていきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			コモンセンスペアレンティングをとり入れ、肯定的な関わりの支援を行いながら保護者にも必要に応じて伝えていきます。	継続して、コモンセンスペアレンティングの肯定的な関わりの支援を行いながら保護者にも必要に応じて伝えていきます。
		⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			児童発達支援責任者が契約時に丁寧に説明しています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日頃からコミュニケーションをとり、又、事業所内面談を行い、必要な助言と支援を行っています。	継続して、コミュニケーションを細目にとり、又、事業所内面談を行い、必要な助言と支援を行っています。

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				必要に応じて保護者同士の連携を支援していきます。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情に対するマニュアルがあり、それに沿って迅速に対応するようにしています。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報には十分注意し、鍵付き書庫に保管しています。	継続して、職員全員で、孤児には十分に気をつけていきます。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護からの情報は、複数職員で把握するようにしています。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ感染予防の観点からバザー等の機会が無くなりました。	コロナが落ち着き、バザー等の再開出来るように企画していきます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				継続して、各マニュアルを職員や保護者に周知していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回の避難訓練を行っています。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待に関する研修の機会があり、週に1回はアンガーマネジメントの練習を行っています。	継続して、虐待に関する研修の機会があり、週に1回はアンガーマネジメントの練習を行います。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束については、個別支援計画に記載し、保護者に説明して同意をもらっています。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーのあるお子さんはいませんでした。	アレルギーのあるお子さんへの対応は、医師の指示書をもとにマニュアルにそって対応します。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットをオープンにし、職員間で共有し、大きな事故にならないように気を付けています。	継続して、ヒヤリハットをオープンにし、職員間で共有し、大きな事故にならないように気を付けています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。